

2021 SHISEIKAN! 9

ちょっと早いけど 「老い」と「死」について考えてみよう



橋本 博

皆さん、こんにちは。二年生の「心理・コミュニケーション講座」を担当している橋本博です。まずは自己紹介から。志成館の前身“学習社ゼミナール”で仕事を始めてから間もなく30年、校長先生、事務の高橋さんに続いて3番目の古株ですが、最近は週に一コマの授業なので私のことをあまり知らない人もいるでしょう。年齢はまもなく73歳、皆さんのお爺さんより年上ですが、マンガばかり読んでいるので気持ちの上ではまだ若いつもりでいます。

そんなお爺ちゃん先生から若い皆さんにメッセージがあります。当たり前のことですが人は必ず死にます。例外は100%ありません。うわっ、爺くせえなんて言わないで。今日は死について、そしてその前に来る「老い」について話をしましょう。

最近、マンガ家でコレクターでもある同世代の友人が亡くなりました。ついこの前までマンガについて語り合い、自慢のコレクションを見せ合っていたばかりですが突然の訃報でした。病気とは無縁で若い人に混じってコミケに出品し、連載も持っていました。その人がある日突然この世からいなくなる、これが死というものです。

マンガ家になって50年というイベントを数年前にした時こう言っていました。「最近徹夜ができなくなった、線がうまく引けなくなった、デッサンも狂ってきた。これが年取るとのことなのかなあ」

「老い」はこれまでできていたことが急にできなくなることで感じるものです。子供と逆です。

最近はこちらも言っていました。「でも描きたいことはどんどん沸き上がってくるんだ、70過ぎたらなんだか次のステージに上がったみたいだ、10年前には考えもしなかったことがわかるようになる、これも結構楽しいよ。」

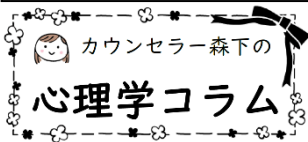
「老い」はネガティブな面しかないわけではありません。50、70、80歳になるとそれまで見えていなかったことが見えるようになります。その年齢がどんなものかを発見する過程にある、言い換えれば高齢者は「老い」という新しい冒険に乗り出しているのかもしれない。

そんな冒険にも必ず終わりは来ます。彼はマンガという手段を用いて自分の志しを次の世代に伝えてきました。彼のマンガに触発された人の中には有名な劇作家もいます。ドラマにも舞台にもなりました。「老い」という冒険のゴールが見えた時、彼の死は必然だったのでしょう。残された私たちは寂しくはありますが、彼の作品は残っています。肉体的な死を迎えても、みんなが彼のことを忘れない限り死ぬことはないでしょう。

誰もが必ず迎える老いと死、そのことを考えるきっかけになればと思い、こんな文章を書いてみました。

日	曜	9月の予定	※コロナに関する国や県、市等の方針に従い、変更になる場合があります。
1	水		
2	木		
3	金	高校】始業式	大受】後期開始
4	土	高校】保護者茶話会・オープンスクール（熊本校・八代校）・ひなたぼっこの会	
5	日		
6	月	1・2年】二者面談	
7	火		
8	水		
9	木		
10	金	↓ 高校】味噌天神ボランティア清掃	
11	土	大受】共通テスト模試②	
12	日		■ 高等学院 1, 2年生は9月15日(水)～17日(金)が“前期試験”となっております。試験範囲を確認し、レポートを見直して万全の態勢で臨んでください。
13	月		
14	火		
15	水	1・2年】〈前期〉定期試験	
16	木	↓ 全体】進学相談会〔熊本城ホール〕	
17	金	↓ 高校】〈前期〉終了	
18	土		
19	日		■ 大学受験科 まだまだ暑い日が続きますが、大学によっては総合型選抜の出願が始まる時期です。総合型選抜に限った話ではなく、 <u>出願期間、提出書類の確認</u> などを行い、慌てることのないよう早めの準備を行ってください。 特に志望動機書などは、どれだけその文章に頭を悩ませたのかが、文面に如実に表れます。しっかり考えて書き上げてください。
20	月	「敬老の日」	
21	火	高校】秋休み	
22	水		
23	木	「秋分の日」	
24	金		
25	土		
26	日		
27	月		
28	火		
29	水		
30	木	↓	

※10月1日(金)より、後期授業開始



カウンセラー 森下の

心理学コラム

先日、小堀先生とサマージャンボ宝くじの話をしていた時のこと。「7億円が当たれば働かずに遊んで暮らせるじゃないか!」と、まだ買ってもないのにあれこれ妄想話をしていました。その時に私は「幸福感」について考えました。

心理学者のソニア・リュボミルスキーらの研究では、人間が幸せを感じる影響要因には以下の3つがあるとのこと。

☆ **遺伝的要因** ⇒50% **一生不変**

生まれつき幸福を感じやすい度合いのことで、一生を通じて変えることが出来ない。

☆ **環境的要因** ⇒10% **一時的**

未婚か既婚か、裕福か貧乏か、健康か病気か、といった一般的な生活環境のこと。

☆ **本人の意図的行動** ⇒40% **長期的**

自分が幸せになろうと意識的に努力すること。物事をポジティブに考える認知活動も含まれる。

意外なことに、収入や健康など私たちの幸福を決定するかに見えた**環境的要因**は、実は10%しか影響しないのです。なぜならば、昇進した、家を買った、宝くじが当たったなどの環境的要因で**最初は幸福感を感じますが、人間はすぐにその環境に慣れてしまうから**です。

一方で**本人の意図的行動**が40%も影響しています。つまり、人は**主体的に行動していくことで、自ら幸福度を高めていける**ということ。しかも、本人が目的を持って幸福へと努力した場合は、幸福度に関して**環境的要因よりも長期的な効果がある**と言われています。

…なるほど、というわけで私は宝くじは買わずに、目標を持って子育てと仕事に取り組んでみましょうかね。

奥深いフォークの世界 by 沖住

あ、沖住です。今回は少し趣向を変えて、日本におけるフォークソングの歴史を少しだけ。

日本にフォークブームが起きたのは1960年代後半。ベンチャーズやビートルズに影響を受けたグループサウンズ(GS)ブームと入れ替わるように起こります。これはアメリカのヒッピームーブメント、プロテスト・フォークソングブームの影響を受けたものです。

初めはポップ・ディランやジョン・バエズ、PPMといった海外の音楽をコピーして演奏していたのですが、そもそものフォーク(民族音楽・民謡)の精神性を慮り、自分の生活や思想をオリジナルの音楽にのせて歌う人々が出始めます。そもそもギターが一本あればフォークは出来るということで、この流れは一大ムーブメントを起こします。シンガーソングライターという言葉がはやり始めたのもこの頃です。

ただ、この「(海外からの)流入→コピー→オリジナル」という流れは何もフォークに限った話ではなく、ロックもパンクもメタルもヒップホップもすべて同じ道をたどっています。目新しい異物が徐々に土着化し違和感なく生活の一部となる。そう書くと音楽に限らず大抵のものがそうであると言えるかもしれません。身の回りにあるものの起原や歴史を調べてみると意外とおもしろいかもかもしれませんね。

キョジイの“ちょっといい話”～その④

フラれたとして、こっちは好きな人を失うけど、あっちは好きでいてくれる人失うんだよ!

《スピードワゴン 小沢さん 名言》

甘い言葉と言えば小沢一敬さん。まるで哲学者のような深い言葉の数々を残しておられます。

皆さん、恋してますか?若い時だから、いっぱい人を好きになって、告白して…でも、フラれることもあるでしょう。高校時代の私は、いつもそう…落ち込んでばかりでした。あの頃、この言葉を聞いていたら、どんなに救われたでしょうか!



高橋 陽子

『ようこそ!先輩』

志成館には、卒業生が足繁駆く訪ねてきてくれます。

卒業から何年もたつと仕事に就いたり自然と足が遠のくものですが、中には10年以上過ぎてても定期的に近況報告に来る卒業生もいます。私の中では、もはや卒業生では無く親戚のこの感覚です。

「就職が決まりました。」、「大学に進学したけど、違った。」、「用は無いけど、遊びに来た。」、報告だったり、相談だったり目的はいろいろです。

来たい時に、思い出した時にフラッと来てくれれば有難いです。また、卒業後しばらくして来校した時に「実家に帰ったみたい。」と言った生徒もいて、その言葉は、私のがんばる力にもなっています。

在籍していた頃は、学校にもなかなか出てこれず心配だったのですが、大学で目標を見つけ、大学院も視野に入れ、イキイキとしていれる様子に感心すると同時に安心したりもします。様々な分野で自分のやりたい事を見つけて、頑張っているようです。

在校生と年齢の差を越えて、すぐに打ち解け仲良く談笑している様子を見ると、私の方もうれしくなります。

8月31日・9月1日に予定されていた「タイムスリップキャンプ」には卒業生も参加を希望していたのですが、中止になって残念です。また、遊びにきてくれた時には大いに歓迎したいものです。

卒業生が来てくれることは、在校生にとっても、良い刺激になると思っています。

志成館で、後輩や先生方と言葉を交わし、心の洗濯をし、がんばれる力をたくさん補充して欲しいと願います。

また、嬉しいとき、悲しいとき、いつでも、どんな時でもかえりたくなるような場所であり続けたいと思います。

志成館・ぐるぐるログ

令和3年度第6回目のぐるぐるログでは、8月に行われた全国高等学校定時制通信制体育大会第54回卓球大会と大会が行われた奈良の様子を紹介します。それでは、LET'Sぐるぐるウォッチッチ！



奈良県で行われた全国高等学校定時制通信制体育大会第54回卓球大会に志成館から3年生 月精千春さんが出場しました。

会場であるロートアリーナ奈良には24台もの卓球台がズラリと並び、そこへ全国の猛者がひしめき合い、圧倒されるような雰囲気がありました。全国大会はやはり重みがありました。

試合については第一回戦、相手は苦手なタイプの相手でした。第1セット目は順調に取りましたが、第2、3セットはやはり苦手とする配球に苦しめられました。それでも、何とか第4セットはそれらに対応し、盛り返しました。そして、ファイナルセットは取っては取られての攻防が続きましたが、最後は8-11で逃げ切られました。本当に惜しい試合でした。しかし、第2、3セットで追い込まれてからも諦めずに相手に向かっていく姿勢には心を打たれました。ここまでふんばれた月精さんの奮闘ぶりを讃えたいです。

試合後には興福寺などを小堀先生（地歴・公民科）のガイド付きでまわりました。



日本航空高校【熊本キャンパス】

志成館高等学校

志成館【高認受験科】

志成館【大学受験科】



〒862-0973 熊本市中央区大江本町7番3号 (味噌天神バス停徒歩0分/味噌天神となり)

TEL 096-366-1008 FAX 096-371-3871 ホームページ URL: <http://www.siseikan.net>